

保護者 様

名古屋市立愛知小学校長
秋 田 貢

令和2年度 学校評価アンケートの結果

吹く風にも春の爽やかさが感じられるころとなりました。保護者の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度8月と1月に行った学校評価アンケートを集計し分析した結果についてお知らせします。この評価を受け止め、今後の指導に生かしていきます。



1	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	わたしは、学校が楽しい。	1月	54.3%	33.9%	7.8%	3.9%	
		8月	51.9%	31.6%	11.7%	4.8%	
保護者	子どもは、学校を楽しんでいる。	1月	58.4%	34.2%	6.9%	0.5%	
		8月	57.1%	34.6%	5.5%	2.8%	

8月の結果では、例年より「楽しい」という評価が少なかったため、心配をしていましたが、1月のアンケートでは児童、保護者ともに85%以上が「楽しい」との回答でした。今年度は制約が多く、例年のようにできないこともありましたが、その中でも児童は、行事や学習、友達との関わりを通して、学校生活を楽しむことができたと分かり安心しました。同時に、楽しくないと回答していた児童にも目を向け、日ごろの学級での様子、各アンケートの結果なども全教職員で共通理解し、楽しくないと考える原因を取り除いていきます。

2	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	わたしは、進んで挨拶をしている。	1月	45.2%	41.7%	11.0%	2.2%	
		8月	35.5%	43.7%	16.5%	4.3%	
保護者	子どもは、進んで挨拶をしている。	1月	40.6%	47.0%	10.4%	2.0%	
		8月	35.8%	47.4%	14.0%	2.8%	

進んで挨拶できると回答した児童が、例年より少なくなっています。マスクでの生活、大きな声での会話を控えるなど、今の状況も原因の一つではないかと考えます。このような状況ではありますが、やはり挨拶は大切です。今後も、挨拶の大切さの指導を続け、児童が進んで挨拶ができるようにしていきます。

3	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	わたしは、授業が分かりやすいと思う。	1月	42.1%	39.9%	14.0%	3.9%	
		8月	43.1%	37.1%	14.7%	5.2%	
保護者	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	1月	41.0%	45.0%	13.0%	1.0%	
		8月	39.3%	50.9%	7.5%	2.3%	

「授業が分かりやすい」との回答が8月から減少しています。昨年度末の臨時休業、6月からの授業開始と先が見えない状況で、児童も教師も落ち着いて授業に取り組むことができなかったことが一因ではないかと考えます。次年度は、この結果を真摯に受け止め、もう一度指導方法を見直し、一人一人に合わせた丁寧な指導ができるよう考えていきます。

4	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	わたしは、きまりを守って生活している。	1月	43.4%	41.7%	13.2%	1.8%	
		8月	45.4%	38.0%	13.5%	3.1%	
保護者	子どもは、きまりを守って生活している。	1月	43.0%	44.5%	11.0%	1.5%	
		8月	46.3%	44.0%	8.8%	0.9%	

多くの児童が「きまりを守って生活している」と回答しています。今年度は、マスクの着用、手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保など、例年に比べ守るべきことが多くありました。きまりを守らせるだけでなく、そのきまりの必要性を考える場面を設定することで、子どもたちが自ら考え、きまりを守ることができるよう意識を高めていきます。

5	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	わたしは授業で、自分で考えたり考えたことを友達に伝えたりして、友達と一緒に勉強を頑張っている。	1月	43.9%	35.5%	16.2%	4.4%	
		8月	45.4%	31.9%	15.7%	7.0%	
保護者	学校は、子どもが自分の考えをもち、伝え合うことで学びが深まるよう手立てを工夫している。	1月	35.9%	55.9%	6.7%	1.5%	
		8月	33.2%	58.2%	6.7%	1.9%	

90%以上の保護者の方から高評価をいただきました。今年度より努力点で取り組んでいる「考えをもち、伝える力」の育成は、児童の将来に必要となる力です。今年度は、考えをもつことに力を入れてきましたが、次年度はさらに「聞く力」の育成にも取り組んでいきたいと考えています。児童の評価の伸びがあまり見られなかったため、児童自身が自分の成長を感じられるようにしたり、苦手意識をもつ児童への支援の方法を考えたりしながら、さらに力を伸ばしたいと考えています。

6	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	先生は、何か困ったことがあると、相談にのってくれる。	1月	58.8%	28.9%	7.5%	4.8%	
		8月	52.4%	33.8%	10.0%	3.9%	
保護者	学校は、心身の健康や勉強のことなど、子どもの様子についての相談に対して、適切に応じている。	1月	55.8%	38.7%	4.0%	1.5%	
		8月	50.5%	44.8%	3.3%	1.4%	

年間2回の教育相談、学校生活アンケート、スクールカウンセラーによる相談などが、児童にも保護者の方にも定着してきたと考えられます。教育相談のときには、担任とじっくりと話す中で、学習面、友達関係などの悩みを打ち明ける児童も増えてきました。困ったときはいつでも、誰にでも話を聞いてもらえるという環境をつくり、児童が安心して学校に通えるように寄り添っていきます。

7	評価項目	時期	A	B	C	D	グラフ
児童	先生は、仲がよくいじめがない学級にしようと話をしてくれる。	1月	60.5%	30.3%	7.5%	1.8%	
		8月	57.6%	32.9%	5.6%	3.9%	
保護者	学校は、仲がよくいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	1月	56.3%	41.6%	2.0%	0.0%	
		8月	47.9%	48.3%	2.4%	1.4%	

児童、保護者とも90%以上の高い評価となっていることは、いじめは許さないという姿勢が児童や保護者の方に伝わっていることによるものだと考えます。しかし、あてはまらないと回答している児童もあり、いじめの早期発見や、相談体制の充実、児童一人一人に寄り添っていく姿勢が今後も大切であると考えています。いじめは許さない姿勢を示しながら、引き続きいじめのない学校づくりを目指していきます。